

# ティービーアイ(東京貿易グループ)

## AI + CAMERA + IoTで 安全・安心な社会の実現を

### AI画像解析システムによる多様なソリューションの提供

#### 6つの切り口



#### プロジェクトの歩み

2018年	8月	AI画像解析システム「TAS」リリース
2019年	2月	顔認証機能 リテール・公共施設対応開始
	3月	セキュリティ関連展示会への出展、広告等プロモーション活動
	12月	車番認証機能 交通システム対応開始

#### プロジェクト・ストーリー

東京貿易グループは、SDGsを大目的として「事業創造型 想造商社」というVISIONを定めました。そのVISIONの下、グループ各社がさまざまな分野で事業を展開することでSDGsに貢献しています。既存事業のほかにも、水素事業への取り組み、ベンチャー企業との共同によるオープンイノベーションへの取り組みなどにより、社会のエコシステムの構築に寄与しています。

グループVISIONにおいては「人類の社会の安全な未来を想造する」ことを目標の一つとしました。その活動の具体例として、グループ会社のティービーアイが提供するAI画像解析システム「TAS」を紹介します。

昨今、人口減少や高齢化、情報化、グローバル化といったメガトレンドの中で、社会のニーズは高度化・多様化しています。そのようなニーズに応え、社会課題の解決に寄与するため、ティービーアイでは既存のセキュリティ製品に「ディープラーニング」などの先端技術を取り入れました。

例えばTASは、AIを用いた顔認証・車番認証などの技術により、不審者・不審物の検知や不正の防止を可能とします。ティービーアイは、この高度なビデオアナリティクス技術と、防犯カメラやセンサーなどの周辺機器を組み合わせ、IoT環境を構築し、長年の現場経験に基づく細やかな顧客サポートを行うことで、運用性・信頼性の高いシステムを実現しました。

このシステムは今後、災害対策や業務効率化などへの応用が可能です。災害大国・高齢化大国である日本において、また同様の悩みを抱える世界各国において、災害防止に役立ち、医療・介護などの人手不足に悩む現場を支えることで、より安全・安心な社会づくりに貢献できます。

東京貿易グループは、今後も人類社会の課題を解決する「事業創造型 想造商社」を目指し、活動を続けていきます。

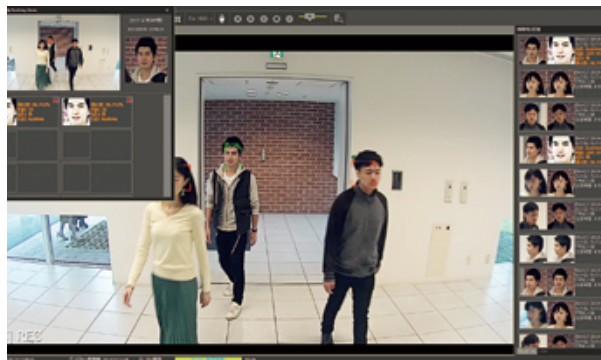
## AI画像解析システム「TAS」



AIがセキュリティソリューションを高度化

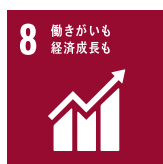


医療現場等の人手不足を支援



顔認証技術による人物検知

## 主なSDGsの目標



## 今後の展開

AIの可能性はこれからも広がっていきます。今後、ビデオアナリティクス技術やIoTの進展に伴い、より広く深い切り口でのソリューションが可能となります。

ティービーアイは、ここでご紹介した分野にとどまらず、ス

マートシティのような都市政策、フードディフェンスなど、さまざまな側面から持続可能で強靱な社会づくりに貢献したいと考えています。

### 主査コメント

経団連もSociety 5.0 for SDGsを掲げているように、SDGsの目標達成を行う上で、テクノロジーの役割は大きいといわれています。テクノロジーの展開をうまく商社の強みと組み合わせることができれば、SDGsへの貢献がより効果的に行えるものと思われま。特に、新型コロナウイルスへの対応からも明らかなように、災害対策や医療介護分野での貢献は今後さらに大きく

なっていくでしょう。人間中心に「誰一人取り残されない」ようにしながら、環境にも良いようにIoTやAIを活用するためには、SDGsの17目標と169ターゲットの視点から活動を改めて検証することが大切です。そこから、新たなビジネスチャンスの発見やリスクの回避へとつながっていくはずで。